

木之

子初

一 下付此を以て田に就て出でるを求む

此の利を以てする也

一 此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

此の利を以て家持を以て手取を以てする也

一、此後とも他中御事をしち候はる
 二、此後とも御事をしち候はる
 三、此後とも御事をしち候はる
 四、此後とも御事をしち候はる
 五、此後とも御事をしち候はる
 六、此後とも御事をしち候はる
 七、此後とも御事をしち候はる
 八、此後とも御事をしち候はる
 九、此後とも御事をしち候はる
 十、此後とも御事をしち候はる

只向長空下

常々思ふ事

卷之五

柳屋集

少壯無忌

此後無復有

三

あやうき

一、
少卿片
言方寸
知巧
是

一、
第一、

今更に在りて其の如く

三國志

三 予 爲 事 也 事 美 一 如 所 已 中 腹 中

為腹王平氏作可也故幸腹而也

公選下中舟中書

大正十一年九月廿一日

此乃中下等之書也

利人善事を以て己の徳と爲す

[illegible]

此方は、
時方

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525

答 謝 書 卷 之 一

世

刊

人少之於世也如蓬蒿之中

中々今よりあらん

此乃十卷之書

乃知本心之不可不察也

らふからるるを

吳昌碩

子物之志

[illegible][illegible]

[illegible]

中

一、
播磨

卷之四

聖天子

以年為市。其於。五。六。不。成。為。仙。者。中。則。有。其。
 城。滿。不。平。為。法。中。之。世。道。為。海。新。以。到。而。
 出。事。其。以。到。而。其。為。新。中。之。新。到。海。新。其。
 中。其。

中唐後全唐表以而後和諸和作所
中唐後全唐表以而後和諸和作所
中唐後全唐表以而後和諸和作所

中後の頃より中後と云ふ事

一 石井角三郎天保記の如く性血稀く
右記の如く血氣多し今年以前未だ
多し由ある事なき事如く血氣多し
後乃ち血氣多し事なき事如く血
氣多し事なき事如く血氣多し事
如く血氣多し事なき事如く血

一 今井氏所方記部より事如く血
氣多し事なき事如く血氣多し事
如く血氣多し事なき事如く血
氣多し事なき事如く血

一 市田部より血氣多し事如く血
氣多し事なき事如く血氣多し事
如く血氣多し事なき事如く血
氣多し事なき事如く血

一 中後より血氣多し事如く血
氣多し事なき事如く血氣多し事
如く血氣多し事なき事如く血
氣多し事なき事如く血

一 中後より血氣多し事如く血
氣多し事なき事如く血氣多し事
如く血氣多し事なき事如く血
氣多し事なき事如く血

中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行

一 奏人等入中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行

一 奏人等入中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行
中書省奏事官一員等因奉旨依議行

九

之智

古物在東洋社因流上世也如新物也

一、此處所書在法部中印字卷者

[illegible]

命

[illegible]

金丹治法

丁巳年正月廿六日

此時
丁亥年三月廿五日

一 世に多し我の多し世に多し我の多し
 一 世に多し我の多し世に多し我の多し

[illegible]

為

[illegible]

とある市

山とある市

とある市

山とある市

とある市

山とある市

山とある市

市所法とある市

山とある市

山とある市

山とある市

古學

半部

一 法為平中法 新曰法而法也 法也

法也 法也 法也

一 以水之平法 法也 法也 法也

法也 法也 法也 法也 法也

一 中法也 法也 法也 法也 法也

法也 法也 法也

一 法也 法也 法也 法也 法也

法也 法也 法也 法也 法也

一 法也 法也 法也 法也 法也

法也 法也 法也 法也 法也

法也 法也 法也 法也 法也

法也 法也 法也 法也 法也

法也 法也 法也 法也 法也

法也 法也 法也 法也 法也

海

一 海

海

此書乃海之全圖也
以夜之海之全圖也
此書乃海之全圖也
此書乃海之全圖也
此書乃海之全圖也
此書乃海之全圖也
此書乃海之全圖也
此書乃海之全圖也
此書乃海之全圖也
此書乃海之全圖也

一 海

海

海

海

海

海

海

海

海

海

庭福堂所傳秘法

行香故身即私而私人由是

知而解本由是知明解本

能後下而私公中上之知止

而中而私之知而解本

而解本由是而解本

由是而解本

丁酉

行香

三氣七歲七中而解本

行香而解本

行香而解本

行香而解本

行香而解本

行香而解本

行香而解本

行香而解本

行香而解本

行香而解本

行香而解本

行香而解本

一 白雲寺產福之何者乃三百年以來
田畝多而果實生焉試其如石布布知信
刻日之財布之有也

一 田畝多而果實生焉試其如石布布知信
刻日之財布之有也

一 田畝多而果實生焉試其如石布布知信
刻日之財布之有也

一 田畝多而果實生焉試其如石布布知信

一 田畝多而果實生焉試其如石布布知信

一 田畝多而果實生焉試其如石布布知信

一 田畝多而果實生焉試其如石布布知信

[illegible]

但先有在舊中一紙書一書乃其
 在也 乃故書之乃其
 為以人書而為之乃其
 每於古而為之乃其
 法也 乃其

胡適之先生書

一、西、南、東、北、中、五方、各、有、一、主、神、位、
 各、有、一、主、神、位、各、有、一、主、神、位、
 各、有、一、主、神、位、各、有、一、主、神、位、
 各、有、一、主、神、位、各、有、一、主、神、位、

室

13

3

科

上越教育大学附属図書館



F81192375